

水生昆虫の特徴

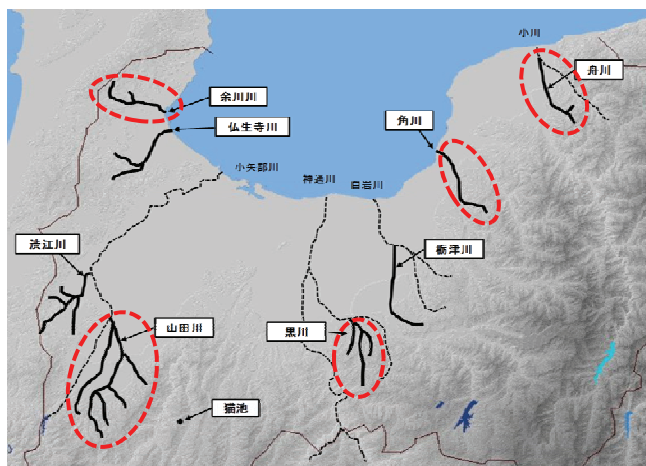


図1 水生昆虫を調査した河川（赤の破線で囲んだ河川）

富山県内の河川水生昆虫の調査は、2007年の角川を始めとして、2008年余川川、2011年舟川、2013年黒川、2014年山田川と5河川で行われた。

表1 5河川に出現した各目の種数

	舟川	角川	黒川	山田川	余川川	5河川
蜉蝣目	16	14	16	17	23	41
蜻蛉目	3	3	6	4	13	18
襀翅目	2	9	6	4	7	19
広翅目	0	2	1	0	1	2
半翅目	0	0	3	4	2	5
毛翅目	6	12	10	7	8	27
鱗翅目	1	0	0	0	0	1
甲虫目	0	2	2	5	2	7
双翅目	2	0	4	3	1	4
計	30	42	48	44	57	124

表1に、各河川で記録された各目の種数を示した。

ここで特徴的なところは、氷見市の余川川の総種数が多く、特に蜻蛉目の種数が多いことである。この原因の1つは、余川川での調査月が他よりも多く、調査回数も他よりも多いことである。また、余川川の源流標高が低く、礫ばかりの早瀬部分がより少なく、流速の緩やかな部分、河床の砂泥部分が多く、いわゆる下流的環境が多く見られることにもよると考えられる。水生植物の多い緩やかな小川などに生息するハグロトンボ、オオカワトンボ、コフキトンボが余川川からのみ得られていることがそのことを示している。トンボ類に

関して言えば、山地溪流に特有な種と思われるムカシトンボが、県東部の2河川（舟川、角川）から得られているのは、これらの河川が余川川とは異なり、源流標高がより高く水温が低く流速の早い山地溪流、いわゆる上流的環境の多いからだと思われる。また、ミヤマカワトンボが県西部・中央部の2河川（山田川、黒川）から得られ、余川川、舟川、角川からは今回得られなかったのは、この2河川が氷見市の河川と県東部の河川との中間的な性格を示す例と考えてもよいものと思われる。また、共通して得られているコオニヤンマ、オニヤンマ、コヤマトンボは、中・下流域の河川環境での砂泥底に見られるものである。

カゲロウ類では、各河川とも、ヨシノマダラカゲロウ、クシゲマダラカゲロウ等の上流から下流域までの流れの緩やかな所に多いマダラカゲロウ類の種数が多いのが目につくところである。また、上・中流域の流れの速い部分の石上に多いエルモンヒラタカゲロウ、ユミモンヒラタカゲロウ等のヒラタカゲロウ類も（山田川を除き）比較的種数が多い。山田川でヒラタカゲロウ類が得られなかったのは、山地溪流環境の調査場所が少なかったことを示しているのであろう。山地溪流棲のオナガヒラタカゲロウが舟川・角川に見られ、中・下流域の緩流部分に見られるキイロカワカゲロウが黒川以西の3河川から得られている。

カワゲラ類では、山地溪流棲のノギカワゲラやオオヤマカワゲラ、オオクラカケカワゲラが角川、黒川で得られ、緩流部分に見られるクロヒゲカワゲラやフタツメカワゲラが3河川から得られている。トビケラ類で目につくのが、中流域の瀬に普通に見られるヒゲナガカワトビケラ類が余川川では得られていないことである。また、広い範囲の瀬に見られるウルマーシマトビケラ、コガタシマトビケラ等のシマトビケラ類が広く得られている。

これらのことを併せてみると、各河川とも上流域の急流域から下流域の平地流的環境まで多様な河川環境が存在するが、県の東部から西部・氷見地方への地形的変化に伴って、各河川中の流程の中での河川環境の割合が異なり、そのことが、今回の調査結果に反映されているのではないかと考えられる。

表2 カゲロウ類の出現状況

カゲロウ類一覧			調査河川					
			余川川	山田川	黒川	角川	舟川	
チラカゲロウ科	チラカゲロウ属	チラカゲロウ	○	○	○	○		
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属	マエグロヒメフタオカゲロウ		○				
		ヒメフタオカゲロウ		○			○	
コカゲロウ科	コカゲロウ属	トビイロコカゲロウ				○		
		シロハラコカゲロウ	○	○		○		
		コカゲロウ属一種	○		○			
		コカゲロウ属一種					○	
		トツカワコカゲロイウ					○	
	フタバコカゲロウ属	フタバコカゲロウ	○	○			○	
ヒラタカゲロウ科	タニガワカゲロウ属	キブネタニガワカゲロウ	○	○				
		シロタニガワカゲロウ			○			
	ミヤマタニガワカゲロウ属	ミヤマタニガワカゲロウ属一種					○	
	ヒラタカゲロウ属	ユミモンヒラタカゲロウ	○		○	○		
		オナガヒラタカゲロウ				○	○	
		ナミヒラタカゲロウ					○	
		エルモンヒラタカゲロウ	○		○	○	○	
		タニヒラタカゲロウ					○	
		ウエノヒラタカゲロウ	○					
	キハダカゲロウ属	キョウトキハダヒラタカゲロウ			○			
	ヒメヒラタカゲロウ属	ヒメヒラタカゲロウ	○					
トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロ属	ヒメトビイロカゲロウ		○	○			
	トビイロカゲロウ属	ナミトビイロカゲロウ				○		
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属	オオクママダラカゲロウ	○	○				
		ツノマダラカゲロウ			○			
		クロマダラカゲロウ		○			○	
	トゲマダラカゲロウ属	オオマダラカゲロウ	○	○				
		ヨシノマダラカゲロウ	○	○	○	○	○	
		フタマタマダラカゲロウ			○		○	
		ミツゲマダラカゲロウ					○	
	マダラカゲロウ属	ホソバマダラカゲロウ				○		
		イマニシマダラカゲロウ		○				
		イシワタマダラカゲロウ		○				
		クシゲマダラカゲロウ	○	○	○			
		キタマダラカゲロウ					○	
		コオノマダラカゲロウ					○	
		アカマダラカゲロウ	○		○	○	○	
		マダラカゲロウ属一種	○	○	○			
		マダラカゲロウ科一種	○		○			
カワカゲロウ科	カワカゲロウ属	キイロカワカゲロウ	○	○	○			
モンカゲロウ科	モンカゲロウ属	フタスジモンカゲロウ	○			○		
		モンカゲロウ	○	○		○		

表3 カワゲラ類の出現状況

カワゲラ類一覧			調査河川					
			余川川	山田川	黒川	角川	舟川	
ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ属	ノギカワゲラ			○			
アミメカワゲラ科	コグサアミメカワゲラ属	コグサヒメカワゲラ					○	
	アサカワヒメカワゲラ属	アサカワヒメカワゲラ				○		
	クサカワゲラ属	フタスジクサカワゲラ					○	
アミメカワゲラ科		アミメカワゲラ科一種		○	○			
ミドリカワゲラ科		ミドリカワゲラ科一種				○		
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属	フサオナシカワゲラ属の一種	○	○				
	オナシカワゲラ属	オナシカワゲラ属の一種	○		○	○		
	ユビオナシカワゲラ属	ユビオナシカワゲラ属の一種				○		
カワゲラ科	モンカワゲラ属	モンカワゲラ属一種			○			
	オオヤマカワゲラ属	オオヤマカワゲラ	○			○		
		ヒメオオヤマカワゲラ	○					
	カミムラカワゲラ属	クロヒゲカワゲラ	○			○	○	
		ウエノカワゲラ		○				
		カミムラカワゲラ	○			○		
		カミムラカワゲラ属一種			○			
	クラカケカワゲラ属	オオクラカワゲラ				○		
	フタツメカワゲラ属	フタツメカワゲラ	○	○		○		
	オスエダカワゲラ属	オスエダカワゲラ属の一種			○			